

# 平成 31 年(令和元年)度 社会福祉法人三恵会事業報告書

## 1. 事業概要

特別養護老人ホームを中核とし、ショートステイ、デイサービス、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム等の社会福祉事業を行い、お年寄りの介護を通して、地域の方々の生活を支援しています。

## 2. 監査会

令和元年 6 月 18 日(火) ひかわ会議室

(参加者 監事 2 名、理事 2 名、事務局 1 名)

1. 平成 30 年度収支決算の監査

## 3. 理事会及び評議員会

第 1 回 理事会及び評議員会 令和元年 6 月 23 日(日) ひかわ会議室

(参加者 評議員 7 名、理事 6 名、監事 2 名、事務局 1 名)

1. 平成 30 年度事業報告
2. 平成 30 年度決算報告
3. 平成 31 年度一次補正予算案について
4. 監事監査報告
5. 市監査指導室・消防署・保健所の立入検査指摘事項について
6. 理事及び監事の任期満了による役員変更について
7. その他

第 2 回 理事会 令和元年 11 月 22 日(金) 三恵苑会議室

(参加者 理事 6 名、監事 2 名、事務局 1 名)

8. 令和元年度上半期事業報告
9. 令和元年度二次補正予算案について
10. 介護職員処遇改善手当(特定含む)について
11. 賞与引当金の取り扱いについて
12. 収益事業の取り扱いについて
13. 本部への資金移動について

第 2 回 評議員会 令和元年 11 月 24 日(日) ひかわ会議室

(参加者 評議員 5 名、監事 2 名、事務局 1 名)

8. 令和元年度上半期事業報告
9. 令和元年度二次補正予算案について
10. 介護職員処遇改善手当(特定含む)について
11. 賞与引当金の取り扱いについて
12. 収益事業の取り扱いについて
13. 本部への資金移動について

第3回 理事会 令和2年3月11日(水) 富士見園会議室

(参加者 理事6名、監事1名、事務局1名)

14. 令和元年度下半期事業報告
15. 令和元年度三次補正予算案について
16. 令和2年度事業計画について
17. 令和2年度当初予算案について
18. 就業規則、給与規定の一部変更
19. 評議員の推薦について
20. 賞与引当金の計上について
21. 令和2年度処遇改善手当について報告
22. 評議員会の決議省略について

第3回 評議員会(省略決議) 令和2年3月21日(土)

14. 令和元年度下半期事業報告
15. 令和元年度三次補正予算案について
16. 令和2年度事業計画について
17. 令和2年度当初予算案について
18. 就業規則、給与規定の一部変更
19. 賞与引当金の計上について
20. 令和2年度処遇改善手当について報告

#### 4. 目標に対する自己評価 <三恵会>

基本目標 1	高齢で普通の生活が出来なくなった人達に対して「あたりまえの生活が出来るように支援していく」と云う法人理念に則り、お年寄りとそのご家族を支援していく。
重点課題	関係者とのコミュニケーションを深め、相互理解と共通目標の確認をする。
評価	法人理念が職員に浸透してきており、入居者・家族ともコミュニケーションが取れている。今後も引き続き法人理念に則り運営していく。

基本目標 2	特別養護老人ホーム三恵苑および養護老人ホーム富士見園の建替え計画を進める。
評価	令和元年5月17日(木)にさいたま市介護保険課の担当者と打ち合わせを行う。また令和2年1月28日(火)にさいたま市介護保険課が富士見園に来園し視察。今後も順次計画を進めていく。

## 特別養護老人ホーム三恵苑事業報告

### 1. 事業概要

人生の最後を悔いなく、楽しく送って頂けるように。

そして『あたり前な生活が出来るように』特養入居者 76 名と短期利用者 4 名のお年寄りの生活を支援しています。

### 2. 月間利用者延人数（特養・短期合計）

30 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
	2,283	2,336	2,231	2,251	2,318	2,280	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	27,765
	2,353	2,276	2,398	2,385	2,208	2,446	
31 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
	2,289	2,425	2,281	2,312	2,296	2,159	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	27,530
	2,230	2,297	2,331	2,253	2,242	2,415	

### 3. 退所の状況

退所者 32 名（昨年度 11 名）

性別	年齢	介護度	退所理由	性別	年齢	介護度	退所理由
女	63	5	利用終了	女	86	5	療養入院
男	78	4	病院にて逝去	女	95	4	苑にて看取り
女	99	5	療養入院	女	84	4	療養入院
女	67	5	病院にて逝去	女	73	5	苑にて看取り
女	92	4	苑にて看取り	女	92	3	病院にて逝去
女	98	4	病院にて逝去	女	75	4	病院にて逝去
女	102	5	苑にて看取り	女	99	4	病院にて逝去
男	82	4	苑にて逝去	女	88	5	病院にて逝去
男	94	5	病院にて逝去	女	92	5	苑にて看取り
女	86	5	療養入院	女	94	4	苑にて看取り
女	92	4	病院にて逝去	男	84	4	病院にて逝去
女	98	5	苑にて看取り	男	86	3	苑にて看取り
女	87	4	療養入院	女	73	3	病院にて逝去
女	81	5	療養入院	女	91	5	苑にて看取り
女	86	4	病院にて逝去	女	90	5	療養入院
男	87	5	療養入院	退所者平均年齢 87.03 歳			
男	87	5	病院にて逝去	看取り 昨年度 6 名 今年度 9 名			

### 4. 入居者の年齢構成

（4 月 1 日時点）

	～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	平均	最高齢
男	1	5	5	6	5	0	1	1	80.58	101
女	2	4	4	12	11	16	2	1	85.60	102
計	3	9	9	18	16	16	3	2	84.01	102

## 5. 入居者の介護度別人数

(4月1日時点)

介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	平均介護度
30年	1	3	10	22	24	4.08
31年	1	7	26	28	14	3.62

## 6. 事業所で行ったこと

4月	お花見の会	10月	バスハイク
5月	端午の節句	11月	焼き芋会、外注食会
6月	運動会、外注食会	12月	クリスマス会、餅つき
7月	納涼祭	1月	新年の集い
8月	七夕の会、入居者健康診断	2月	節分の会
9月	敬老会	3月	ひな祭りの会

- その他毎月、ホーム喫茶、手作りおやつ、クラブ活動(書道クラブ、民謡クラブ、クレヨンクラブ、お花クラブ、ハンドベルクラブ)お誕生日企画を行いました。

## 7. 職員の状況

(特別養護老人ホーム、短期入所事業所の合計)

職名	人数		兼務の状況	性別	資格	
	常勤	非常勤				
施設長	1			男	社会福祉主事	
事務員	1			女	衛生管理者、ヘルパー2	
事務員		1		女	社会福祉主事	
相談員	1		○	男	介護支援専門員、介護福祉士	
ケアマネ	1		○	男	介護支援専門員、社会福祉士	
主任	1			男	介護福祉士	
主任	1			女	介護福祉士	
リーダー	1			男	介護福祉士	
リーダー	1			女	介護福祉士	
介護職	9			男	介護福祉士	
介護職	4	2		女	介護福祉士	
介護職	1			男	介護職員初任者研修	
介護職	2	5		女	介護職員初任者研修	
介護職	1			男		
看護師		3		女	正看護師	
看護師	2	1		女	准看護師	
栄養士	1			女	管理栄養士	
介助員		2		男		
洗濯		3		女		
宿直員		3		男		
合計	28	19	介護職員:入居者数 = 1 : 2.35			

## 8. 各委員会

- ・安全対策委員会                      ・ケア向上委員会                      ・マニアル委員会
- ・衛生管理委員会                      ・感染症対策委員会                      ・褥瘡対策委員会
- ・身体的拘束適正化委員会

## 9. 目標に対する自己評価

特養 基本目標 1	入居者が毎日笑顔で生活して頂けるよう、三恵苑全体で生活の場を作っていく
重点課題	入居者に対する思いやり、職員同士での思いやりの心を忘れずに業務を行う。また施設の共用部、入居者の居室の整理整頓を心がける。
評価	今年度は介護職員の離職率が低く、看護職員の離職率が高かったが、全体としては比較的落ち着いていた。そのこともあって入居者や職員間の“思いやり”はしっかりと出来ていた。また整理整頓を意識する職員も増えてきており、職員の意識が高まってきたと感じている。“思いやり”と“整理整頓”は生活の場でとても重要なことと考え、次年度以降も継続して目標に掲げていく。
特養 基本目標 2	入居者が安心して生活できるよう、また職員が安全に働けるように施設の環境を整備していく
重点課題	施設の老朽化している部分の修繕や機器の整備を行う。また職員の腰痛を軽減するため、福祉機器の有効活用に努め、職員が安心して長く働ける職場環境をつくっていく。
評価	今年度はボイラーの入れ替えと、非常用照明の全数取替、また非常用発電機の修繕を実施した。施設の築年数が 32 年を超え、今後も大小様々な修繕が発生していくため、引き続き迅速に対応していく。 また今年度も腰痛によって職員が 2 名退職となった。“抱えあげない介護”を目指し、今後も職場環境を整えていく。
介護【1 階】 目標	①有意義で充実した毎日を過していただく ②思いやりの気持ちを忘れない
重点課題	①安心・安全に生活が送れるよう環境整備に努める。また、心を込め接する事で笑顔に満ちた生活を送って頂く。 ②相手の事を常に考え、人の痛みを感じられる感性を磨く努力をしていく。
評価	利用者が、毎日を笑顔で楽しく生活出来る様言動に注意しながら接するよう心掛けていた。しかし、利用者から不満の声が少なからずあったのも事実であり、そのような声を無くしていける様、より一層な意識付けが必要であり今後の課題である。
介護【2 階】 目標	①笑顔で過ごせる雰囲気を作る ②認知症ケアを再度学び、より良いサービスを提供する
重点課題	①利用者個々に合った、表情や言葉(丁寧語)を考えながら、指示的な言動はさげ、利用者本位の立場に立ち接する。 ②認知症の知識・技術を高め、職員間で利用者個々の情報共有し、その人に合った対応を心がける。

評価	<p>①利用者の入れ替わりが激しく状態把握に労力を要したが、以前より言葉を気にして利用者に接している様子が有った。</p> <p>②職員個々の知識量や経験にばらつきはあるが、情報共有を行い同じ対応(個別ケア)が出来る様に努めた。</p>
医務室 目標	<p>①利用者の状態把握に努める</p> <p>②利用者の医療対応時の書類等の充実</p>
重点課題	<p>①ご高齢な利用者が多く ADL を維持しながら、少しの変化にも状態観察を行い対応する。</p> <p>②医療機関受診時に必要とする、ご本人様・ご家族様の意思又は、医療面で必要とする書類の再確認をする。</p>
評価	<p>①高齢者でもあり元々の疾患で低下した方、風邪から肺炎で入院対応帰苑出来ない方、看取り対応下方が多かった。</p> <p>②書類作成は出来ているが、本人・家族と確認が出来ない方の体制が出来ていない為、今後も課題となる。</p>
厨房 基本目標	<p>①利用者様一人一人に合った安全な食事サービスを提供する</p> <p>②季節に応じた献立やイベント食を多く取り入れ、生活の中での楽しみを増やす</p>
重点課題	<p>&lt;栄養部門&gt;</p> <p>①ご利用者様のレベルに応じたお食事を安定提供するために、マニュアルの整備を行う。</p> <p>②栄養や食品に関する情報を提供していく。</p> <p>&lt;食事サービス部門&gt;</p> <p>①効率の良い作業方法を確立していく。</p> <p>衛生知識の向上を目指す。</p> <p>②利用者様の嗜好に合わせた献立の提案を行う。</p>
評価	<p>&lt;栄養部門&gt;</p> <p>①マニュアルに関しては引き続き整備を行っていく。</p> <p>②行事食に関して、掲示による情報提供を行った。</p> <p>&lt;食事サービス部門&gt;</p> <p>①作業手順の見直しを行い、時間内に食事提供及び事務作業ができるようになった。</p> <p>②利用者様の希望をいち早く取り入れ、喜んでいただけた。</p>

## 養護老人ホーム富士見園事業報告

### 1. 富士見園基本方針

- 1 利用者の皆さんの自立と個人の尊重を重んじ、生きがいを持ち、安心して楽しい生活が出来るように支援します。
- 2 職場の将来展望において、職員全員が共通意識のもと、意識改革と自己研鑽を積み、働く喜びを共に感じられる職場にします。
- 3 一施設としての事業展開にととまらず、広く地域の福祉推進者としての視点を常に持ち行動します。

### 2. 入居者の状況

#### 1) 実施機関別在園者数

R2.4.1 現在

機関 性別	大宮区	西区	北区	見沼区	中央区	桜区	浦和区	南区	緑区	岩槻区	熊谷市	蓮田市	富士見市	志木市	合計
男	8	9	9	4	1	1	1	0	0	6	0	0	0	0	39
女	5	12	8	9	1	2	0	0	0	2	0	0	1	0	40
計	13	21	17	13	2	3	1	0	0	8	0	0	1	0	79

#### 2) 年齢別在園者数

各年度末調べ

年度	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度	
年齢	男	女	男	女	男	女	男	女
65 歳以下	1	0	2	1	3	0	0	0
65～70	2	3	4	2	4	3	4	2
71～75	9	4	7	6	7	7	8	4
76～80	9	11	11	12	14	10	12	11
81～85	12	8	8	7	5	9	10	11
86～90	6	13	7	11	8	10	3	5
91～99	1	6	2	6	3	5	2	7
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0
計	40	45	41	45	45	44	39	40
総計	85名		86名		89名		79名	

※平均年齢 男 78.8 歳 女 82.0 歳 平均 80.4 歳 最高年齢 男 94 歳 女 96 歳

## 3) 月別入・退所者状況

H31 年度分

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
在籍		89	88	87	87	85	85	86	86	82	79	79	77		
入園	男	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	5
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
退所	男	1	1	1	0	1	0	1	0	0	2	1	2	10	16
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	6	

## 4) 退所事由別

H31 年度分

年齢 性別	死亡	施設替え (特定施設等)	入院 (措置切れ)	家庭復帰	計
男	6	2	1	1	10
女	3	2	1	0	6
計	9	4	2	1	16

## 5) 入園前の居所別

R2.3 末現在

居所 性別	家庭						小計	病院 老健	施設 (救護) (厚生) (身障)	その他	計
	配偶者	子供	兄弟 姉妹	その他 の親族	ひとり 暮らし	その他 雇主等					
男	1	4	1	1	24	1	32	2	1	4	39
女	0	8	3	3	24	0	38	2	0	0	40
計	1	12	4	4	48	1	70	4	1	4	79

## 6) 在園期間別

R2.3 末現在

居所 性別	1年未 満	1年	2年	3年	4年	5年	6~9	10~ 14	15~ 19	20年 以上	計
男	3	5	7	2	5	3	8	4	2	0	39
女	1	3	6	6	4	3	7	9	1	0	40
計	4	8	13	8	9	6	15	13	3	0	79

平均在籍年数 6.2 年

## 7) 介護保険認定状況

R2.4.1 現在

区分	要支援 I	要支援 II	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	合計
男	4	4	2	5	2	0	0	17
女	3	2	5	11	1	1	0	23
計	7	6	7	16	3	1	0	40

### 3. 目標に対する自己評価

基本目標 1	施設整備計画を具体的に実行していく
重点課題	①施設整備計画を具体的に実行していく。 ②施設の維持管理を計画的に実施していく。
評価	①設整備計画について具体的な立案・実行を目標とし市へ要望書を提出したが不調だった。施設の老朽化がさらに進んでおり早急な施策が必要である。 ②補修・修繕等が多く対応に苦慮している。基本的な設備に不具合が生じているが、設備が古く修理不能も出て来ており緊急的な代替え対応を検討している。引き続き安全と快適に過ごせる環境作りを意識し出来る限りの対応を実施し行きたい。
基本目標 2	個別支援計画に基づき自立した生活が維持・継続できるよう支援していく
重点課題	①個別支援計画に基づいた生活・介護支援を的確に実施する。 ②利用者が安全で快適に生活できるように支援していく。
評価	①一般利用者へ自立支援の強化を図った。機能維持・改善を目的とした運動やレクレーションを実施した。 ②昨年に続きケース検討会、勉強会を定例化しサービスの向上を図った。
基本目標 3	年間研修計画を作成し実りある研修会参加を実現する
重点課題	① 年間研修計画に基づき全職員の研修会等への参加を実施し職員の専門的知識・技術の習得、資質の向上に努める。 ② 各職員の「チャレンジプラン」での能力開発目標に基づき、職員の資格取得やスキルアップのための研修会・講習会への参加を推進する。
評価	①年間研修計画に基づき全職員研修参加を実施した。 ②養護分科会では、施設見学を兼ねた研修会に積極的に参加した。
基本目標 4	防災体制・感染予防対策の整備強化を実施する
重点課題	①あらゆる災害に対応できるよう防災対策の整備と強化を図る。 ②災害時に必要な給食給水及び資機材配備の整備を行う。 ③緊急時の対応が迅速且つ的確に実施出来るための訓練・講習会を実施する。 ④感染予防対策の強化と見直しを行う。
評価	①大型台風上陸の際は安全を優先し最大の対策を講じた。又上陸に伴う不測の事態に対応するため職員 9 名が宿直した。 ②新型コロナ感染対策委員会を立ち上げ早期に対策を講じた。引き続き最大限の対策を継続している。
基本目標 5	地域に密着した福祉拠点を目指していく
重点課題	① 地域福祉の拠点として施設の役割・機能を最大限発揮していきます。 ② 地域との交流を積極的図り、地域との連携と協力体制をより深めていく。 ③ 介護体験や社会化体験などを目的とした研修生、実習生を積極的に受け入れていく。又、ボランティア等の活動についても内容・目的など調整し受け入れしていく。

評価	①新型コロナ感染予防のため各行事の見直しやボランティアの受け入れ中止などを実施した。
----	--

## 2)セクション別 目標に対する自己評価

養護 基本目標	ADL・IADL の低下を防ぎ、一日でも長く安心して生活出来る様自立に向けて支援していく
重点課題	・利用者の状態を把握し、各セクションと連携を取り個々にあった対応をしていく。 ・本人が自分で出来る些細な事でも、長く継続できるよう支援していく。
評価	・平成 31 年度は 3 名入所に対し 16 名の方が退所された。新しい入所者が非常に少ない年だった。各セクションと連携を取り合い支援する事はできたと思う。引き続き継続していく。 ・「今、自分でできること」が継続して行えるように少しの手助け(見守り・声掛け)で行えたと思う。次年度も継続していきたいと思う。
特定 基本目標	現在の状態を維持し、出きる事が増え、落ち着いて過ごして頂く
重点課題	・信頼関係を維持する為、傾聴し思いを大事にする。 ・報.連.相の徹底
評価	持病から入院死亡退所の方が 8 名おられたが、皆さん入院直前まで状態を維持できておられた。施設替えされ、短期で亡くなられた方がおられる事を考えると、出きる事が維持でき、落ち着いて過ごしていただけたのではないかと思う。各セクションとの報告・連絡・相談は行えた。
訪問 基本目標	運動・食事・生活をバランス良く、笑顔で現状維持が保たれるようお手伝いして行く
重点課題	・野草茶屋などで簡単な手遊びや頭の体操等を行う。 ・食事の基本として残さず食べ水分補給をしっかり摂る。 ・ヒヤリハットを無くし、「にやり・ほっと」で笑顔を増やす生活。
評価	入院や施設替えなどでサービス中止になった方、新規に利用される方など利用者の変動が多い年だった。利用者の皆さんは大変穏やかに過ごされ食事や水分摂取量も安定していた。手遊びレクに参加される方も多く運動機能の維持・向上も見られた。本年度より利用者さんの良いところを見つけ信頼関係を築く試みとして「にやり・ほっと」を導入、職員と利用者さんの笑顔が増えたように感じます。次年度も継続プラスαして行きます。
医務室 基本目標	免疫力を上げ、感染症等に罹患しにくい身体をつくる
重点課題	・適度な運動の実施(ラジオ体操、レクリエーションの参加、散歩)、またレクリエーションで“笑う”機会を作る。 ・栄養、バランスのとれた園の食事をしっかりとる。 ・原則的に、週 3 回の入浴実行し、身体を温める。
評価	・適度な運動の実施として、ラジオ体操は声掛けにより意欲的でない方も何と

	<p>か参加していただけたが、レクリエーション等に関しては、支援員の援助力が大きいところとなり、医務室としての具体策としては適さなかった。</p> <p>・園の食事摂取に関しては前期に、入浴の奨励に関しては後期にポスター掲示した。2 月末に南棟入所者全員にアンケート実施したところ、“食事ポスター”は 37%の方が「目にした」が、そのうち実際「食べよう」と思った方が 57%という結果。“入浴ポスター”に関しては 61%の方が目にし、その内 68%の方が実際に「入浴しようと思った」という結果になった。</p>
<p>厨房 基本目標</p>	<p>安全でおいしいと一人でも多くの方に言って頂ける食事作り</p>
<p>重点課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生知識の構築</li> <li>・厨房全体のスキルアップ</li> <li>・研修参加</li> </ul>
<p>評価</p>	<p>①衛生管理・スキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理工程・時間の見直しを実施。</li> <li>・調理終了時刻や未加熱調理の時刻なども含め改善。</li> <li>・決められた時間でどの様に調理するのか、考えながら調理業務を行う技術と能力を身に着ける。</li> </ul> <p>②研修については、内容を精査し参加した。</p>

## 特別養護老人ホームひかわ事業報告

### 1. 事業概要

- 1) 入居者、一人ひとりに合った援助を心がけ、ひかわでよかったと、入居者とその家族に思ってもらえるよう努力します
- 2) 施設の全体行事として、あおぞら市・納涼大会・敬老会を行なう

### 2. 月間利用者数 (特養、短期合計)

30年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	3,516	3,512	3,430	3,558	3,562	3,390	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	41,311
	3,521	3,450	3,395	3,445	3,146	3,386	
31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	3,300	3,370	3,341	3,550	3,391	3,306	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	40,632
	3,532	3,367	3,457	3,364	3,156	3,498	

### 3. 退所の状況

退所者 31名 (昨年度 35名)

性別	年齢	介護度	退所理由	性別	年齢	介護度	退所理由
女	76	3	在宅	女	92	5	入院
男	93	3	看取り	女	92	3	入院
女	91	2	入院	女	77	4	入院
女	91	4	入院	女	95	4	看取り
女	93	5	看取り	女	93	3	病院
男	90	3	入院	女	96	4	病院
女	91	4	入院	女	95	5	看取り
男	97	3	看取り	女	97	2	入院
女	87	5	看取り	男	97	4	看取り
女	100	3	入院	女	86	4	三恵苑
女	90	5	入院	女	80	3	病院
女	94	4	入院	男	86	3	病院
女	87	4	入院	女	86	3	病院
男	87	4	入院				
女	91	4	入院				
女	100	3	入院				
男	88	4	有料				
男	86	3	入院				
				退所者平均年齢歳 90.6 歳(昨年度 90.88)			
				看取り 昨年度 15名 今年度 7名			

### 4. 入居者の介護度別人数

(4月1日時点)

介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	人数計	平均介護度
30年	6	9	38	29	24	106	3.53
31年	8	9	33	32	23	105	3.50

## 5. 入居者の年齢構成

(4月1日時点)

	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95～ 99	100 ～	平均	最高齢
男	0	0	1	7	6	6	4	3	1	85.6	103
女	1	0	0	6	15	24	21	8	5	88.9	103
計	1	0	1	13	21	30	25	11	6	88.1	

## 6. 月別入・退所者状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
在籍	104	105	106	107	106	108	108	108	105	104	105	109		
入院者	4	5	2	4	2	4	1	4	2	4	6	5		
入所	男	0	1	2	2	0	2	0	0	0	1	1	2	11
	女	1	1	3	2	2	4	2	2	1	2	3	4	27
退所	男	0	1	0	3	0	1	0	2	0	0	1	0	8
	女	1	1	3	2	2	2	1	2	4	4	0	1	23

## 7. 職員の状況 (特別養護老人ホーム、短期入所事業所の合計)

職名	人数		兼務の 状況	性別	資格	
	常勤	非常勤				
施設長	1		○	男	介護福祉士、社会福祉主事	
事務長	1			女	社会福祉士、衛生管理者	
事務員	1			女	簿記検定1級	
相談員・ケアマネ	3		○	男	介護支援専門員、介護福祉士	
相談員・ケアマネ	1		○	女	介護支援専門員、社会福祉士	
ユニットリーダー	2			女	介護福祉士、ユニットリーダー研修	
ユニットリーダー	2			男	介護福祉士、介護支援専門員	
ユニットリーダー	3			男	介護福祉士、ユニットリーダー研修	
ユニットリーダー	5			男	介護福祉士	
介護職	14	8		女	介護福祉士、介護支援専門員(1名)	
介護職	9	0		男	介護福祉士	
介護職	3	0		女	介護職員実務者研修	
介護職	1	1		男	介護職員実務者研修	
介護職	6	18		女	介護職員初任者研修	
介護職	0	0		男	介護職員初任者研修	
介護職	3	5		女	資格なし	
看護師	2	1		女	看護師	
看護師	2	1		女	准看護師	
栄養士	1	0		女	管理栄養士	
介助員	0	2	○	男	宿直兼務(1名)	
宿直員	0	2		男		
合計	60	38	介護職員 : 入居者数 1 : 1.82			

## 8. 目標に対する自己評価

<p>特養 基本方針</p>	<p>①24H シートを適切に更新し有効活用をして、入居者一人ひとりの当り前の生活を実現する。</p> <p>②質の向上を図るための研修へ継続的に参加し、研修内容を全職員に浸透させる。</p> <p>③フロア会議やユニット会議を活用し自分自身や仲間同士の接遇を見直す。</p>
<p>評価</p>	<p>平成 31 年度(令和 1 年度)は、入居者・職員とも入れ替わりが多くあり、特養全体がなかなか落ち着かない状態であった。現在も職員の不足は継続している状況である。24 時間シートの内容更新については、一年に一回ケアプランの更新時に必ず行っているが、本来は入居者の状態が変わったらその都度行っていくべきものであるため、必要に応じてもう少し細かく対応が出来る様になることが今後の課題である。</p> <p>②の研修に関して、施設内研修は必要に応じて日程を変更するなどして予定していた内容は全て行えている。外部研修に関しては、現場の人員不足により参加が出来ない状況が続いている。外部研修へももっと参加できるような状況が望ましいと思われる。</p> <p>③に関しても、ユニット職員などの不足により会議の日程が組めない現状がある。何とか調整して会議を行っても、入居者の状況やケアの方針、業務内容について等の内容が優先の為、職員同士の接遇までの話には至っていない状況である。接遇に関しては、自覚しづらく他人に言われないとなかなか気付けない問題ではあるが、お互い言いづらい部分がある事も否定できない。目標に上げたような効果にはまだまだ達していないと言える。</p> <p>上記の反省点から、令和 2 年度も全ての内容を引き続き目標に設定する事になる。</p>
<p>医務室 基本目標</p>	<p>①看護における 的確、迅速な対応を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医務室内の連携を図る</li> <li>・他職種との連携を図る</li> </ul> <p>②個々の生活における看護の役割を意識する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・穏やかな生活が送れるよう支援</li> <li>・個々の既往、現病をふまえた生活の質の向上</li> </ul> <p>③看取り対応時の看護の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊厳・尊重を重視し、ご家族の思いに寄り添う</li> </ul>
<p>評価</p>	<p>①情報を全員で共有できるように今後は医務室会議を行い、連携を図る。多職種との連携は取れていた。</p> <p>②早期の体調変化に気付き対応することで QOL を維持できるよう図っているが新規入居者が多く引き続き来年度も継続とする。</p> <p>③日々の状態変化を家族に伝え希望に寄り添う看護を意識できた。</p>
<p>厨房 基本目標</p>	<p>(食事サービス部門)</p> <p>①ユニット毎での出張料理を行い、入居者の食への関心を高める。また、入居者の目の前で調理を行い、出来立てを食べて頂くことにより、家庭の雰囲気</p>

	<p>味わって戴けるよう努力する。</p> <p>②食材の調理法を工夫し、キザミ食の入居者でも、可能であれば形のまま提供できるよう努力する。</p> <p>③食中毒防止の為、厨房内の清掃の徹底と、従業員の衛生教育及び健康管理に勤める。</p> <p>④入居者の嗜好を把握し、定期的な献立の見直しや新メニューを取り入れることにより、喫食量の向上と、献立のマナー化防止を目指す。</p> <p>⑤四季に応じて旬の食材を献立にとり入れる。</p> <p>(栄養管理部門)</p> <p>①入居者、個々人の栄養状態及び嗜好の把握をする事により、喫食量の向上と健康面の安定を図る。又、好物の把握を終末栄養に活用していく。</p> <p>②ユニットの特性を生かし、ユニット単位の料理・菓子作りの企画と協力。</p> <p>③カンファレンス等により、他職種との連携を図り、栄養業務に生かしていく。又入居者個人の食の意向をつかんでいくことにより、食事量減退時や看取開始時に生かしていく。</p> <p>④嚥下調整食分類 2013 に基づく当施設の食態分類の構築 (他事業所との食事関係の連携をスムーズにするために)</p>
<p>評価</p>	<p>(食事サービス部門)</p> <p>ユニット調理を3回企画し、実行できた。</p> <p>大根・人参・里芋等時間をかけてやわらかく調理する事で、刻まず提供できた。これからも食材の幅を増やしていきたい。</p> <p>厨房の扉の閉め忘れがいまだにみられる。換気以外は扉を閉めるよう注意する。</p> <p>残菜等により嗜好を把握し、不評メニューの中止を行った。</p> <p>鰹・筍等四季の食材を使用し献立を作成した。</p> <p>(栄養管理部門)</p> <p>入居者個々人との触れ合いや、ユニット職員の聞き込みによりおおよその嗜好は把握できた。</p> <p>栄養課主催の出張料理を年3回企画し、各ユニットで実施した。</p> <p>カンファレンス等で入居者個々人の食の意向がつかめてきた。今後食欲がないときや看取り時等に活かしていきたい。</p> <p>1. 栄養士自身の体調不良により実行できなかった、来年度に持ち越す事とする。</p>
<p>A-1 ユニット 基本目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者のことをもっと知り、楽しめること、喜ぶことを考えながら実行できるように支援する。</li> <li>・情報共有、ユニットの美化、スキルの統一。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者が喜ぶこと楽しめることを一人ひとり行うことは難しいが、訴えていること、求められていることは紛らわせた。</li> <li>・情報共有も完全ではないができていたがもう少し改善したい。</li> <li>・非常勤にも申し送りを徹底する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニットの美化が進んで行うことができなかった。</li> <li>・どのようにすれば入居者と向き合える時間がつくれるのか、考えて仕事ができなかった。</li> </ul>
A-2 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再度個々の職員のスキルの見直し、向上を行い、それを入居者に反映できるよう努力する。</li> <li>・毎日の生活の中でのレクリエーションの充実や、イベント等を積極的に行い、楽しい生活を送れるように努めていく。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者にとって快適な介助、サービスを提供していくうえで気付いたところがあればその場で指摘し合うことで理解しやすく、実践していった。</li> <li>・レクリエーションは職員の気持ち、モチベーションなどから実施できたりできなかったり、安定した充実という面ではまだまだ至らなかった。</li> <li>・それぞれの入居者の ADL によってゲーム等を行うのが難しく、積極的に行えなかった。</li> <li>・スキルについて個々に雑談を通して機能的な方法を見つけたり、話し合い対応をよりよくしようとユニット職員でまとまっていた。</li> <li>・入居者の体力等の低下もあるが、今年度は怪我が多かったように思う。そのため、レクリエーション、イベント等は必ず決まっている、やらなくてはならないものは行っていたが、前年度に比べ少なかった感じがした。</li> <li>・自身の仕事を振り返る機会もあり、そのことをふまえ全てではないが反映できた部分もあると思う。</li> </ul>
A-3 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の健康や安全に配慮した介護を着実に実施し、安心して暮らしてもらう。</li> <li>・職員一人ひとりの体調や精神面の配慮をし、協力してユニットを良い雰囲気にする。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者に対しては、皮下出血や転倒、事故等が減った。</li> <li>・ヒヤリハットが増えて事故報告書が減った。</li> <li>・退職者を止めることができなかった。</li> <li>・精神面の配慮に欠けていたかも知れない。</li> </ul>
A-4 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全スタッフの連携から、各入居者の望まれた人生を担うユニット作りを行う。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多少は入居者の人生を理解し、日々の生活の中に反映できたと思うが、まだまだ必要だった。入居者、ご家族とももっとコミュニケーションが図れたら良かった。</li> <li>・入居者の生活の要望を聞き取り、生活の中に取り入れるためにユニット職員全員で話をする機会がなかなかとれなかったが、各居室担当者がいろいろ考え、実践できた。</li> <li>・申し送り等で職員間、情報を共有しケアに取り組めた。</li> <li>・ユニット職員以外の職員との連携という意味では情報共有不足の面もみられた。新しい入居者が増え、もっと個人の人生を生かせる場面を作れるよう取り</li> </ul>

	<p>組めれば良かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者とのコミュニケーションを図り、より関係を深めることができた。</li> <li>・気持ち的につかれてしまうことが多く、日によって対応が変わってしまったため、常に落ち着いた対応ができるように心がける。</li> </ul>
B-1 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者個人と向き合い、個別ケアを実践する。</li> <li>・ユニット内の環境整備に取り組み、明るいユニット作りに努める。</li> <li>・職員間の情報共有をしっかりと行い、ユニットケアに活かす。</li> <li>・事故防止に取り組み、同時に職員の介助負担軽減を図る。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の体調面の変化が大きく、ショートステイ利用者のADL低下もあり、その都度、状況に応じた対応を余儀なくされた。職員不足、ADL低下によるレクリエーション不足やバリエーションの減少が見られた。</li> <li>・職員の疲労もあり、業務改善(非常勤との業務分担含め)の必要性があると思われる現在検討している。また、情報共有については、業務連絡が周知されない点もあり、申し送りの方法(閲覧方法)を考えるとともに、職員間の連携強化が必要と思われる。事故防止については、ヒヤリハット報告の有効活用を進めていきたい。</li> </ul>
B-2 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者に寄り添い傾聴する事で、穏やかに生活をしていけるように支援する。</li> <li>・日々の申し送り、定期的なユニット会議を行う事で情報を確認し合い、入居者に的確なサービスが行えるようにする。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしても一人ひとりへの支援量がかかり過ぎる事が増え、「寄り添い」の部分では、満足が得られなかった。傾聴しても、次の行動に移せなかったり、職員一人ひとりの「寄り添い」の意識を高める必要性を感じた。各職員が入居者の穏やかな生活を考え、各々の方法で支援し、さらに職員間で共有が出来ればと思う。</li> <li>・情報共有の不備が多かった。今までとは違う申し送りの方法の検討が必要かもしれない。また、会議については、より充実した時間になるように、ユニットの方向性や職員の考えるケア方法などに的を絞り、日々の入居者の変化や対応は日々の業務の中で共有できればと思う。</li> </ul>
B-3 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の(発語の)訴えのみならず。気持ちを察する事や感じる事で個々の安定した満足のいく生活作りの提供をする。</li> <li>・可能な限り入居者の希望される(調理、外出)レクリエーションの実施をする。</li> <li>・自分から訴える事ができない入居者ほど、細目に関わりを持ち、満足感を少しでも持ってもらえるようにする。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の訴えのみならず、言葉では言い表しにくい気持ちや考えを察し、その都度個別に対応して満足のいく生活作りの支援ができた。</li> <li>・訴えが多い方ばかりになってしまったが、希望されるレクリエーションの実施ができた。</li> <li>・訴えが多い入居者が半数以上を占める中、なかなか訴えの出来ない入居者</li> </ul>

	まで手が回らず、細目に関わりを持つことがあまり出来なかった。
B-4 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇を意識して、介護支援に取り組む。職員側の業務優先にならない事を意識して入居者への声掛け、傾聴を行い生活支援をする。</li> <li>・年4回以上のユニット会議をする。上、下半期にて進捗状況の修正、評価し、また他部署の参加の調整をして、より良い会議にしていく。</li> <li>・同フロア担当以外の他部署の職員に、ユニット内の環境面(清潔・不清潔)や共有スペースの活用状況、直接介助状況など、客観的な評価を受け、ユニット会議等にて報告をしていく。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を掲げ、少しずつではあるが、接遇を意識をして生活支援に取り組む事ができた。次年度も入居者への声掛け、傾聴を通して、1つ1つの言葉かけ、会話から接遇に取り組みたい。</li> <li>・目標以上の回数の会議は実施できなかったが、日々の直接・間接的な支援を多職種と相談して、リアルタイムで対応し取り組む事ができた。</li> <li>・(他部署からの評価意見として)ユニットのハード面が違う中で、採光もあって、環境面においては、よく片付けられていてスッキリした印象との評価をもらった。引き続き、清潔不清潔、整理整頓に取り組みたい。また、ユニット内の装飾については少しさみしいといった意見があった。今後、評価へのアプローチが出来るようにユニットの個性を第一に考え検討し実施していきたい。</li> </ul>
C-1 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の入居者一人ひとりにスポットを当て、個々の要望に応えられるレクリエーションを実施していくことや、全体での外出レクリエーションを実施する。</li> <li>・個別ケアを見直すためにユニット会議を行い、ユニットケアを行えるように対応していく。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニットレクを月に1度は行うことが出来たが、外出レクがあまりできなかった。</li> <li>・ユニット会議も定期的に行うことも出来ていた。</li> <li>・個別ケアは出来ていたが、このまま継続していく。</li> </ul>
C-2 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニット内を清潔に保つことで、過ごしやすい環境を整えると共に、感染症の予防に努めていく。</li> <li>・業務に追われず、入居者と接する時間を多く取れるようにする。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が少ないときは、入居者中心の業務になるため、清掃ができないことがあった。</li> <li>・意思疎通ができない入居者との時間をなかなか取ることができなかった。</li> </ul>
C-3 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の個別対応の理解を深め、一人ひとりが安心して生活できるユニットにする。</li> <li>・レクリエーションや行事を積極的に行い、楽しみをもって生活していただく。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の個別対応を心掛けるように業務を行ったが完璧にはできなかった。今後は積極的にコミュニケーションを取り、入居者のことをより理解できるようにする。</li> <li>・レクリエーションや行事を積極的にできているときもあったが、できない時もある</li> </ul>

	<p>った。また、一人勤務や忙しい時に、入居者に対しての言葉遣いが悪くなってしまった。</p>
<p>C-4 ユニット 基本目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者への尊重の気持ちを忘れず、一人ひとりが安心して笑顔で生活できるように声掛けを行う。</li> <li>・毎月レクリエーションの計画を立て、必ず実施できるようにする。また、季節ごとのレクリエーションを行い、四季を味わっていただき、活気あるユニット作りを行う。</li> <li>・業務で慌ただしくなると思うが、職員も笑顔を忘れずに</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務優先になってしまう時があった。</li> <li>・一人一人の生活リズムに合わせてケアが出来た。</li> <li>・レクリエーションの回数を増やすことは出来たが、もう少し外出レクを計画・実行出来ればよかった。</li> <li>・慌ただしい時間もあったが、笑顔で入居者と触れ合えたと思う。</li> </ul> <p>以上の点を踏まえ引き続きレクの内容を見直し、季節に合ったレクを行えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務優先になってしまいがちにならないように一人一人が気を付けてケアにあたる。</li> </ul>

## 通所介護事業報告書

### 1. 事業概要

特養併設型通所介護事業所として、要介護・要支援者を対象に通常型のデイサービスで日帰り介護をし、在宅での生活が維持できるよう支援しています。また、総合事業「交流型」通所サービス「運動型」通所サービスを行い介護予防事業の一端を行っています。

### 2. 月間利用者数

30年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	541	566	575	597	650	580	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	617	610	587	484	494	598	6,899
31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	623	675	629	695	654	636	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	648	606	611	554	533	535	7,399

### 3. 介護度別利用者数

(3月末日現在)

要介護度	事業対象	要支援	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5
30年度	11	11	19	17	13	3	3
31年度	13	5	14	12	14	3	4

### 4. 事業所で特別に行ったこと

- 利用者のお誕生日に、お花・写真のプレゼント。
- 新年会、節分、ひな祭り、お花見、夏祭り、クリスマス会などの季節行事。
- 敬老の日前後に、「感謝祭」を開催。他部署の職員にも加わってもらう。
- さつま芋・野菜・花等の園芸活動や、桜・バラ・コスモス観賞のドライブ。
- 各種舞踊やマジック、朗読会などのボランティアをお招き。

### 5. 職員の状況

(3月末日現在)

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
相談員(管理者)	1		○	男	介護支援専門員、社会福祉士
相談員	1			男	介護支援専門員、介護福祉士
介護職	3	4		女	介護福祉士
介護職		1		女	
看護師		2		女	准看護師
運転手		3		男	普通自
合計	6	8			

## 6. 目標に対する自己評価

基本目標 1	利用者の個性を生かした生きがい作りのお手伝いをし、利用者・家族の笑顔が増えるよう支援する。
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団での楽しみ「遊びリテーション」と個別での楽しみ「選択レクリエーション」を充実します。</li> <li>・「季節行事」「園芸活動」を通して生活意欲を高めます。</li> <li>・積極的なボランティア等受け入れに努めます。</li> <li>・職員の資質の向上に努めます。</li> <li>・接遇向上に取り組みます。</li> </ul>
評価	<p>「遊びリテーション」では新しいゲームを作り出すことが出来、バリエーションを増やすことが出来た。選択レクリエーションでは「生け花」が定期的な活動として定着、その他手芸も好評を得ている。園芸活動では恒例のサツマイモを栽培し収穫から焼き芋まで皆で楽しむことが出来た。ひかわの「青空市」でも芋掘り体験を提供、好評をいただき地域交流の場を作ることができた。職員間では毎月のミーティングでのケア内容の見直し共有。朝の申し送り時、接遇の標語唱和で意識付けをおこなった。</p> <p>今年度は外部研修への参加が職員配置などの問題もあり、殆どできなかったのので出来るだけ参加できるようにしていきたい。</p>
基本目標	広報活動に努めます
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月「ほほえみだより」を作成する。</li> <li>法人のホームページを活用する。</li> <li>居宅介護支援事業所へ広報する。</li> </ul>
評価	<p>毎月滞りなく「ほほえみだより」を作成し利用者・家族へ配布することが出来た。居宅介護支援事業所への配布が出来ていなかったの訪問活動も踏まえて届けていきたい。</p> <p>法人ホームページのブログが滞っているのでうまく活用していきたい。</p>

# 在宅介護支援センター事業報告

## 1. 事業概要

在宅で生活しているお年寄りが、日常生活を営むために必要な保健医療サービス又は福祉サービスの適切な利用をすることが出来るよう計画を作成すると共に、市からの事業受託にて独居高齢者等の実態把握や介護サービス啓発のための事業などを行っています。

## 2. 月間利用者延数

30年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	207	218	214	216	215	197	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	200	202	202	193	194	200	2,458
31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	198	198	193	193	192	192	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	193	195	200	205	210	218	2,387

※上記数は要介護+要支援(総合事業利用者含む)。

## 3. 介護度別利用者数

(3月末日現在)

要介護度	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
30年度	24	24	63	40	32	11	6	200
31年度	24	27	75	40	29	16	7	218

## 4. 事業所で特別に行ったこと

- 県立大学IP演習参画(10月)
- ケアマネジャー合格者実務研修実習生受け入れ 1名
- 出張無料相談会(公民館、西楽園、湯けむり横丁)11回
- 高齢者サロンへの参加、自治会勉強会でのお手伝い
- 指扇地区社協地域福祉推進委員会(地域福祉行動計画作成)出席
- 指扇地区社協地域交流部会出席
- 指扇地区社協理事会出席
- 一人暮らし高齢者世帯見守り訪問(随時)
- 民協への広報活動 1回
- ふれあい会食で相談窓口の設置(指扇及び内野地区社協) 18回
- 西区区民まつりへの出展(11月)
- 西区「健幸フェスティバル」参画(10, 11月)
- 認知症サポーター養成講座「劇団にしく」、西区認知症キャラバンメイト連絡会への参加
- 包括三恵苑地域支援会議出席 年3回

## 5. 職員の状況

(3月末日現在)

職名	人数		兼務 の 状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
センター長 (管理者)	1		○	男	主任介護支援専門員
ケアマネ	1 2 1			女 女 男 女	主任介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉 介護支援専門員 介護福祉士 介護支援専門員 介護福祉士 介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉士
合計	5	1			

## 6. 目標に対する自己評価

基本目標 1	利用者数の増数 30年度平均は約169件/月(要介護者)。その前が173件でその前年度は184件であった。減少が続いていることから下げ止まりの170件を目標とする。
重点課題	利用者予備軍である軽度要介護認定利用者の獲得ができるよう、そのための地域活動を継続する。
評価	昨年度職員欠員時に利用者数を減らした後の回復ができず、年度平均150件/月(要介護者)に終わる。他に長期ショートステイ利用者がほぼ無くなったことも要因だが、それにつけても終了者に比して新規利用者件数が上回れないことが課題として見えた。新規依頼元からの電話対応など接遇態度から見直し、例年は減少傾向の冬期(1~3月)に新規依頼が増えたことは評価。
基本目標 2	福祉機関として地域に貢献し、事業所の存在を地域に定着させる(継続)
重点課題	繋がりが深まった地区社協の地域活動に、引き続き積極的に参加する。また、西大宮駅以北の新たな住宅地へも事業所の存在を認知してもらえる活動を模索する。
評価	要支援認定利用者(軽度介護者)件数は前年度から2割増と順調であり、当地域活動継続の効果と評価。新興住宅地への認知は未開拓。ひかわの行事に合わせ、広報を模索したい。

## 地域包括支援センター事業報告

### 1. 事業概要(実績)

	地域活動	ネットワーク構築	認知症サポーター養成講座・その他
H31 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きらめきサロン（内野本郷自治会館）</li> <li>・イキイキ運動塾（敬寿園宝来ホーム）</li> <li>・シャボン玉サークル（内野公民館）</li> <li>・すこやか体操（内野公民館）</li> <li>・赤羽根スマイルサロン</li> <li>・駅前サロン YOU 遊</li> <li>・やすらぎ会（ライオンズマンション指扇）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イキイキ情報館</li> </ul>
R1 5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イキイキ運動塾（敬寿園宝来ホーム）</li> <li>・サロンひかわ（特養ひかわ）</li> <li>・ひまわりクラブ（内野公民館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援会議</li> <li>・西区包括ケアネット</li> <li>・内野地区社協福祉行動計画策定委員会作業部会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートの会出前講座</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンひかわ（特養ひかわ）</li> <li>・サロンおあしす（五味貝戸自治会館）</li> <li>・やよい会（中釘自治会館）</li> <li>・駅前サロン YOU 遊</li> <li>・森と風のサロン（内野本郷自治会館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内野地区民生委員協議会</li> <li>・内野地区社協福祉行動計画策定委員会</li> <li>・西区地域包括連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬宮地区見守り推進委員会</li> <li>・イキイキ情報館</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき西大宮（SOMPO ケアラヴィーレ）</li> <li>・イキイキ運動塾（敬寿園宝来ホーム）</li> <li>・さろんエビスヤ</li> <li>・二木会（さしおうぎ団地自治会館）</li> <li>・にこにこサロン（下郷自治会館）</li> <li>・駅前サロン YOU 遊</li> <li>・森と風のサロン（内野本郷自治会館）</li> <li>・ふれいあい会食（内野公民館）</li> <li>・やすらぎ会（ライオンズマンション指扇）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内野地区社協福祉行動計画策定委員会作業部会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮前小学校チャレンジスクール</li> <li>・夏休みこども講座（西区役所）</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サニーホーム夏祭り</li> <li>・イキイキ運動塾（敬寿園宝来ホーム）</li> <li>・すこやか体操（内野公民館）</li> <li>・赤羽根スマイルサロン</li> <li>・サロンひかわ（特養ひかわ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区包括ケアネット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イキイキ情報館</li> <li>・さいたま市教育委員会家庭科部会</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四地区合同敬老会（下郷等）</li> <li>・けやき台敬老会</li> <li>・中郷敬老会</li> <li>・さろんエビスヤ</li> <li>・サロンおあしす（五味貝戸自治会館）</li> <li>・法光寺サロン</li> <li>・森と風のサロン</li> <li>・共和会敬老会（共栄自治会館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇自治会連合会西部ブロック見守り対話集会</li> <li>・地域支援会議</li> <li>・内野地区社協福祉行動計画策定委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮前中学校</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき西大宮（SOMPO ケアラヴィーレ）</li> <li>・さろんエビスヤ</li> <li>・法光寺サロン</li> <li>・オーベルいきいきサロン</li> <li>・森と風のサロン</li> <li>・中釘元気サロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内野地区社協福祉行動計画策定委員会作業部会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土屋中学</li> <li>・健幸フェスタ</li> <li>・健幸フェスタ</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅園会（指扇領辻自治会館）</li> <li>・イキイキ運動塾（敬寿園宝来ホーム）</li> <li>・法光寺サロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇自治会連合会北部ブロック見守り対話集会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇中学校</li> <li>・馬宮中学校（3年生）</li> <li>・馬宮中学校（1年生）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき西大宮 (SOMPO ケアラヴィーレ)</li> <li>・秋葉寿会 (秋葉自治会館)</li> <li>・ここにこサロン (下郷自治会館)</li> <li>・宮前のびのびサロン (宮前2丁目自治会館)</li> <li>・指扇地区社協ふれあい会食会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内野地区社協福祉行動計画策定委員会作業部会</li> <li>・西区包括ケアネット</li> <li>・西区地域包括連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区ふれあいまつり</li> <li>・西部地区郵便局</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき西大宮 (SOMPO ケアラヴィーレ)</li> <li>・下宝来いきいきサロン</li> <li>・けやき台コーヒーサロン</li> <li>・イキイキ運動塾 (敬寿園宝来ホーム)</li> <li>・さろんエビスヤ</li> <li>・法光寺サロン</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサポーター養成講座フォローアップ</li> </ul>
R2 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CC さいたま三橋クラブ (ローソンシティハイツ三橋店)</li> <li>・下宝来いきいきサロン</li> <li>・中釘元気サロン</li> <li>・すこやか運動教室 (内野公民館)</li> <li>・赤羽根スマイルクラブ (赤羽根自治会館)</li> <li>・法光寺サロン</li> <li>・森と風のサロン</li> <li>・内野社協ふれあい会食会</li> <li>・やすらぎ会 (ライオンズマンション指扇)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区包括ケアネット</li> <li>・地域支援会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イキイキ情報館</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤羽根スマイルクラブ (赤羽根自治会館)</li> <li>・指扇地区社協学習会</li> <li>・CC さいたま三橋クラブ (ローソンシティハイツ三橋店)</li> <li>・シャボン玉サークル (内野公民館)</li> <li>・さろんエビスヤ</li> <li>・オーベルいきいきサロン</li> <li>・白寿会 (西新井自治会館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内野地区社協福祉行動計画策定委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮西中学校</li> <li>・大宮西警察署</li> <li>・法光寺サロン</li> <li>・イキイキ情報館</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、活動を休止</li> </ul>		

※                      は認知症サポーター養成講座です。

## 2. 月間利用者数

30年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	415	420	436	432	436	436	
10月	11月	12月	1月	2月	3月		
454	458	454	444	459	458		
31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	457	456	465	476	466	470	5,539
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
471	461	459	468	459	431		

### 3. 職員の状況

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
管理者・社会福祉士	1		○	男	社会福祉士 介護支援専門員
社会福祉士	1 1			男 女	
主任介護支援専門員	3			女	介護支援専門員 介護福祉士
看護師	2			女	看護師 介護支援専門員
生活支援コーディネーター		1		男	
合計	8	1			

### 4. 目標に対する自己評価

基本目標 1	定期的な交流の場の開設を支援する
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①交流の場を1か所以上開設できるよう支援する。</li> <li>②空き店舗等の開催場所を確保する。</li> <li>③交流の場に対しての協力者を3人以上募る。</li> </ul>
評価	元飲食店の店舗をお借りしサロンを開設することができました。元民生委員やサービス事業者の方々、6人がボランティアとしてサロン運営に協力していただいております。今後は、ボランティアの方々がサロンを運営できるよう支援を継続していきます。その他、開設の協力依頼はなかったが、サロンを始めたところがあり、運営に協力しているところが1箇所できています。こちらのサロンも協力を継続していきたいです。
基本目標	消費者被害の相談窓口としての機能を強化する
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ケアマネより消費者被害の情報を収集する。</li> <li>②消費者被害の情報をチラシにして民生委員へ配布する。</li> <li>③サロンにてチラシを配布し相談窓口の周知を図る。</li> </ul>
評価	昨年度は、消費者被害の相談窓口としての機能を強化するため活動してきました。まず、以前から行っていた圏域やその他の消費者被害の情報をケアマネジャーへFAXにて情報提供を継続して行いました。その結果、ケアマネジャーからの消費者被害の問合せや情報提供が増えております。ケアマネジャーからの情報は、他のケアマネジャーへ情報提供しており、好循環が形成されていますので、循環が継続できるよう引き続き、ケアマネジャーとの連携を密にし、情報の収集と発信を行なっていきたいです。その他の情報提供と相談窓口の周知に関しましては、民生委員への情報提供は、民生委員・児童委員協議会にて2回チラシにて情報提供しました。高齢者が集まるサロンへは、訪問しチラシを12回配布することができました。今後も、ケアマネジャーからの情報収集や消費者被害の相談窓口として広報を行い、消費者被害の防止に努めます。